



# Sarnafil® G 410-15 SA Feltback

自己粘着層付塩ビシート防水材

免責事項: シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に基いたものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。



◀ 製品・工法に関するお問い合わせはホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。

©SIKA JAPAN / 2026.03 / 2.000 / PD / Y003



# 防水施工をスマートに変える 日本初の自己粘着型防水シート。

「<sup>サナフィル</sup>Sarnafil® G 410-15 SA Feltback」は、日本で初めての自己粘着層を備えた塩ビシート防水材です。従来の工法は下地の穴あけや接着剤が必要であったため、騒音・振動・粉塵の問題や、工程の多さによる作業負担など、課題を抱えていました。「Sarnafil® G 410-15 SA Feltback」は、フィルムを剥がして貼るだけの次世代防水工法です。工期短縮、高い施工品質、省エネを実現し、防水施工をスマートに変えていきます。

## 確かな防水性能と施工効率を両立

裏面に自己粘着層を備えた高性能塩化ビニル防水シートであり、ガラス繊維不織布による補強層を持ち、優れた寸法安定性と機械的強度を発揮します。

## 省力化施工を実現

裏面のポリプロピレンフェルトが既存防水層との絶縁を実現し、自己粘着層が下地への高い密着性を確保。接着剤の塗布工程を省略でき、施工の効率化に貢献します。

## 幅広い用途に対応

主に接着断熱工法や既存防水改修用システムとして活用できます。

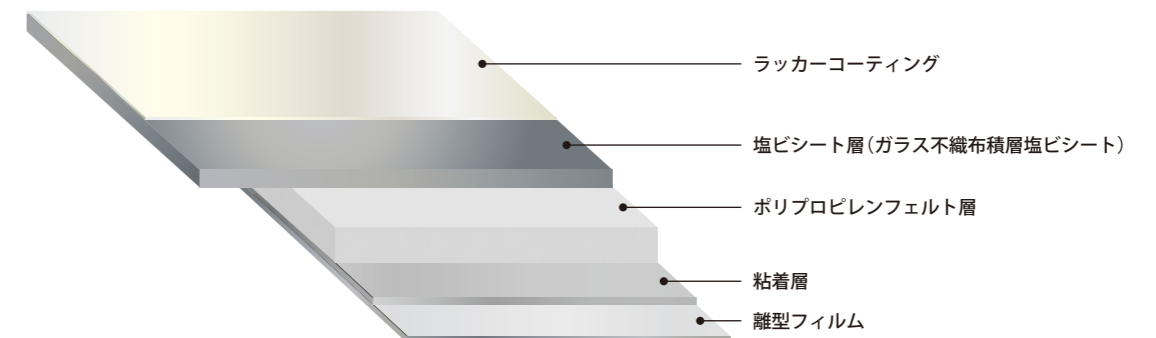
## 美観と耐候性を長期維持

表層にはラッカーコーティング(保護コート)が施されており、紫外線や大気汚染による劣化を抑制。長期にわたり美しい外観と高い耐候性を保ちます。

## Sarnafil® G 410-15 SA Feltback

### Index

- |                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| P.03 施工実績         | P.15 陸屋根既存防水改修工法 - 接着断熱仕様 - |
| P.05 次世代の接着防水システム | P.17 陸屋根既存防水改修工法 - 非断熱仕様 -  |
| P.07 10の特長        | P.19 製品一覧                   |
| P.11 工法・製品        | P.24 納まり例                   |
| P.13 金属屋根接着断熱工法   |                             |



# 世界の屋根での施工実績

Sarnafil®はSikaの高耐久な塩ビシート防水材として  
世界中で採用されています。



アイルランド(ハリーフェルダー) コミュニティセンター



アメリカ(テキサス) カウボーイズ・スタジアム(現 AT&Tスタジアム)



カナダ(カルガリー) スコシアバンク・サドルドーム



クロアチア(ロヴィニ) ホテル・アマリン



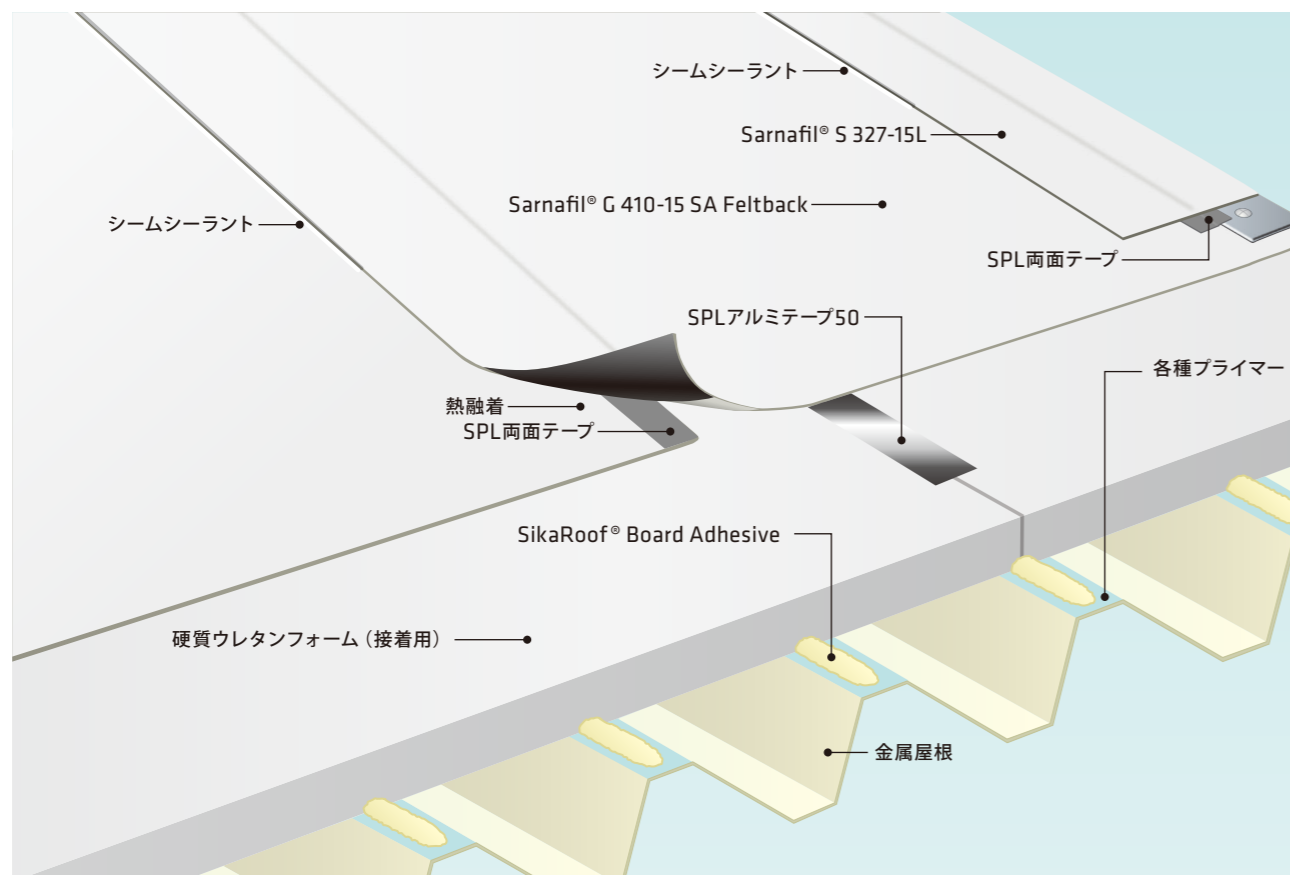
ベトナム BIG C



アメリカ ミネソタ ターゲット・センター

# 次世代の接着防水システム

高断熱性能と高耐風圧性能を両立した、次世代の接着断熱防水システム



## 断熱材を確実に固定

特殊発泡ウレタン樹脂接着剤「SikaRoof® Board Adhesive」により、断熱材を高い施工効率で強固に固定します。

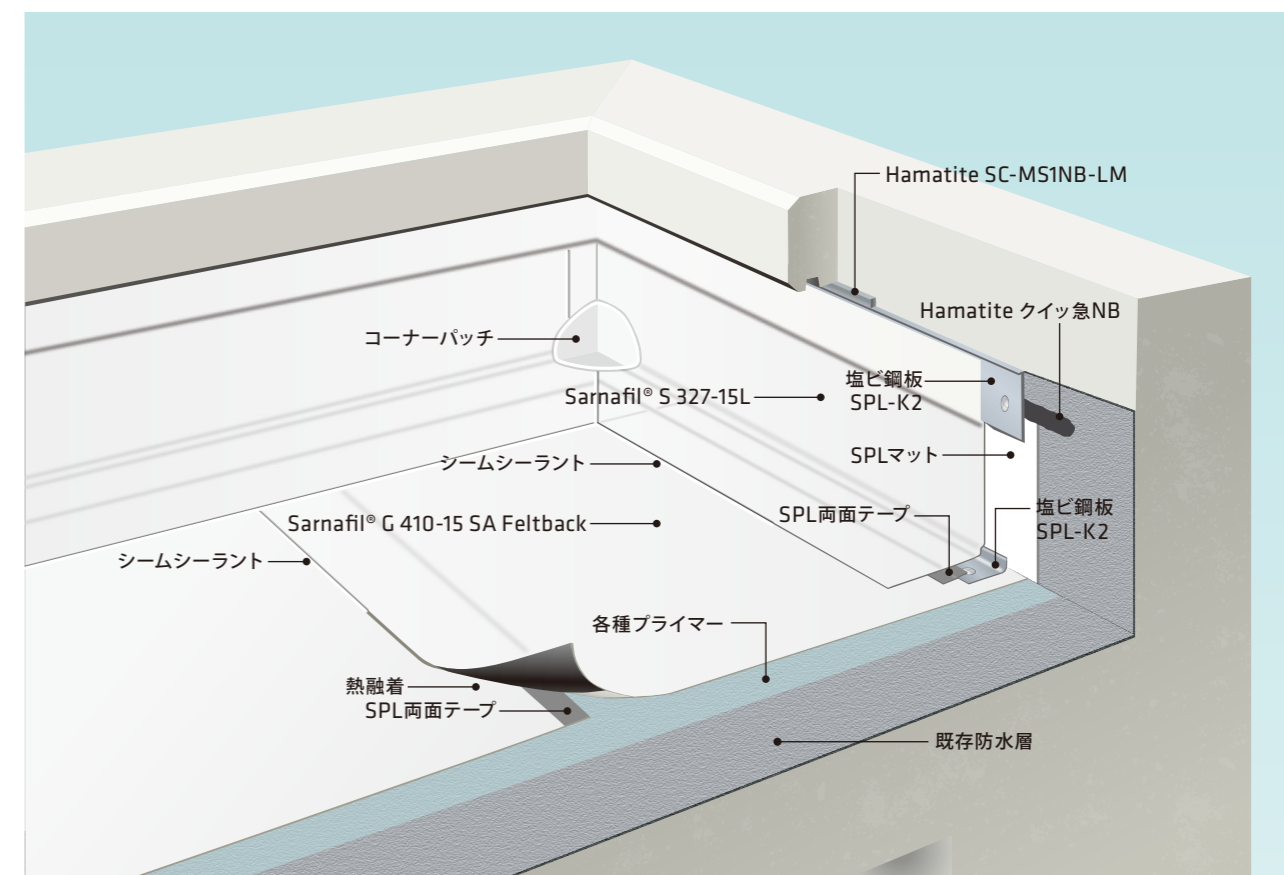
## 工期を50%以上短縮

自己粘着層を備えたSarnafil® G 410-15 SA Feltback を貼り合わせることで、従来工法に比べて50%以上の施工工期短縮を実現。さらに、優れた耐風圧性能を発揮します。

## 環境にやさしい低騒音施工

ドリルやアンカーの使用を最低限に抑えた低騒音施工により、環境負荷を大幅に低減。居住中や稼働中の施設でも安心して改修が可能です。

機械的固定に頼らない、新しい防水改修の選択肢



## 従来工法の課題

これまで既存防水の上から改修を行う場合は、機械的固定工法が一般的でした。しかし、アンカー穿孔による騒音や施工中の漏水リスク、固定位置の制約などが問題となっていました。

## 全面接着による新しい改修スタイル

Sarnafil® G 410-15 SA Feltbackは、自己粘着層と各種プライマーにより全面接着を可能にします。平場部ではアンカーを使用せず、既存防水層上へ直接施工できるため、効率的でスマートな改修を実現します。

## 環境にやさしい低騒音施工

ドリルやアンカーの使用を最低限に抑えた低騒音施工により、周囲環境への影響を軽減。居住中や稼働中の施設でも安心して改修を行うことができます。

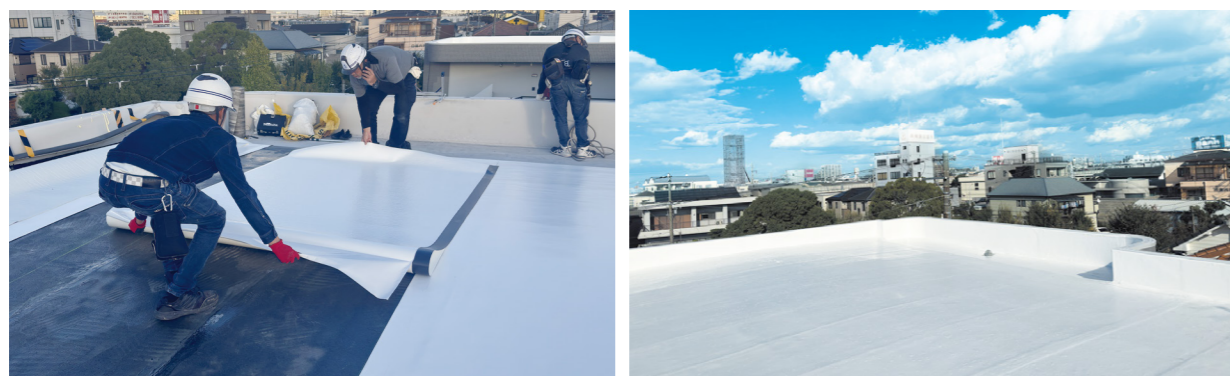
## 断熱工法にも対応

SikaRoof® Board Adhesive を用いた断熱工法にも対応しており、快適性と省エネルギー性をさらに高めます。

# 10の特長で選ばれる高性能自己粘着防水システム

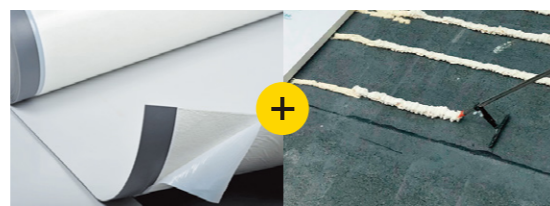
## 1 自己粘着

Sarnafil® G410-15 SA Feltback は、工場一体成形された自己粘着層を備えています。現場で接着剤を塗布する必要がなく、ディスクやアンカーによる固定も不要です。安定した品質で接着層が形成されるため、施工ムラのない均一な接着性能を確保できます。さらに、シートの貼付け作業は従来工法と比べて50%以上のスピードアップを実現し、大面積の屋根でも短期間で仕上げる事が可能です。



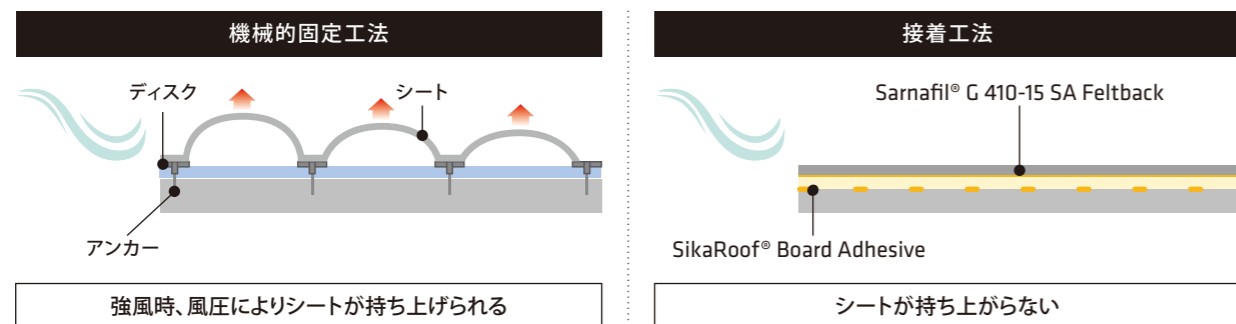
## 2 特殊発泡ウレタン樹脂接着剤による断熱材の高効率固定

SikaRoof® Board Adhesive は、下地に直接吹き付けて断熱材を固定する次世代の接着技術です。従来の塗布型接着剤のような全面塗布は不要で、一定間隔で下地に吹付けるだけで断熱材を確実に固定できます。発泡硬化する特性により、下地の凹凸にも追従して接着面を形成します。さらに、立ち姿勢で施工できるため作業者の負担が軽く、大面積施工でもスピードと品質を両立することが可能です。



## 3 優れた耐風圧性能と長期信頼性

Sarnafil® G 410-15 SA Feltback システムは、全面接着構造により風の吸い上げ力を面全体で分散します。その結果、機械的固定工法に比べて最大約3.5倍(最大30,000 N/m<sup>2</sup>)の固定強度を実現します。

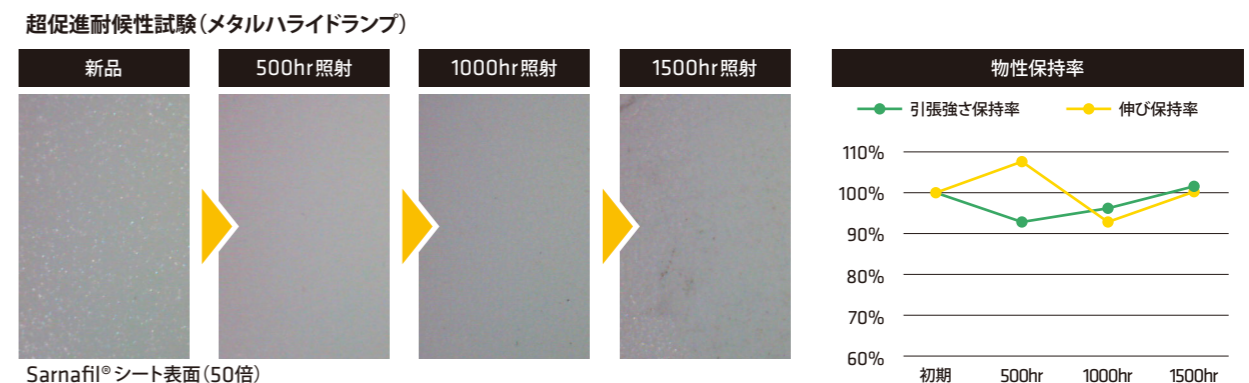


SikaRoof® Board Adhesive接着強度(下地と断熱材間)

塗布ピッチ	接着強度 (N/m <sup>2</sup> )	該当地下または部位
200mm	30,000N	RC下地:隅角・周辺部、折板屋根など
250mm	24,000N	折板屋根など
300mm	19,980N	RC下地:一般部、デッキプレート

## 4 長期耐久性

Sarnafil® は世界各国のあらゆる気候条件に対応するため、厳しい要求性能をクリアし現在の品質を実現してきました。Sarnafil® G 410-15 SA Feltback は紫外線や熱による物性の変化が少なく、変退色もわずかで高い耐久性を発揮します。長期の促進暴露試験においても表面の劣化はほとんどなく、十分な強度と柔軟性を保持します。



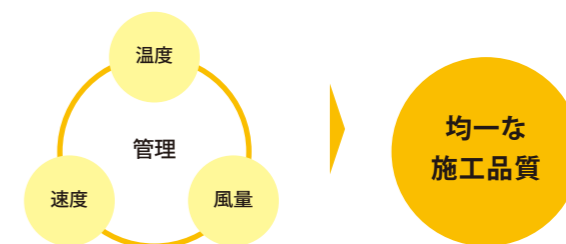
## 5 低騒音施工

従来工法は、アンカーを打ち込む機械的固定工法が主流であり、施工時のドリル音・振動・下地損傷を避けることができませんでした。Sarnafil® G 410-15 SA Feltback システムは、自己粘着構造によりドリルやアンカーの使用を限りなく低減し、防水層を固定します。これにより、施工中の騒音や振動を大幅に低減し、居住中の施設・病院・学校・稼働中の工場などの改修現場でも安心して施工することができます。特に平場部では下地に穴をあけないため、施工中の漏水リスクを最小限に抑えることが可能です。

項目	機械的固定工法	Sarnafil® G 410-15 SA Feltbackシステム
固定方式	アンカー・ディスク	自己粘着層による接着
騒音・振動	発生(穿孔作業)	低騒音・低振動
雨水侵入リスク	穿孔部からのリスクあり	低リスク
適用現場	騒音制限下では不可	病院・学校・工場にも適用可

## 6 均一で信頼性の高い施工を実現

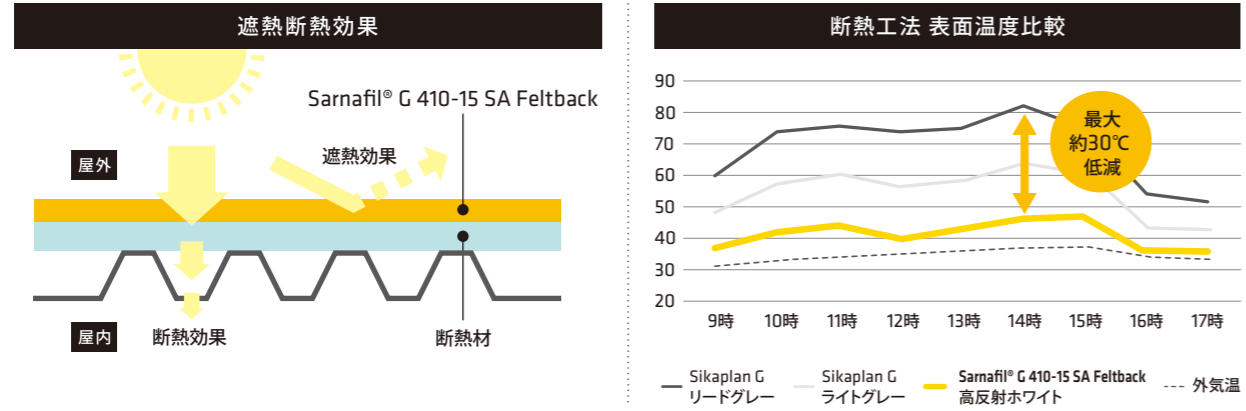
Sarnafil® G 410-15 SA Feltback のシートジョイント部は、自動溶接機による熱融着で一体化します。温度・風量・速度を管理できることから作業熟練度に左右されない融着品質を確保でき、溶剤による溶着と比べて施工効率と品質の向上を実現します。



# 10の特長で選ばれる高性能自己粘着防水システム

## 7 高断熱性能と高反射シートによる省エネ効果

高反射ホワイト仕上げにより、最大で90%以上という非常に高い日射反射率を実現します。この高反射ホワイトと断熱材を組み合わせることで、屋根表面温度を最大約30℃低減することが可能です。さらに、高性能な断熱材で屋根全体を覆うため、冷暖房の効率が向上し、省エネルギーにも貢献します。夏場には太陽熱の侵入を抑えて室内温度の上昇を防ぎ、冬場には室内の暖気が外へ逃げるのを抑制します。また、躯体の室内側温度が室内温度に近づき、結露の発生を効果的に抑えることができます。



## 8 既存防水の撤去が不要で幅広い下地に対応

既存の防水\*を撤去することなく、プライマーを塗布した上から Sarnafil® G 410-15 SA Feltback を直接貼り合わせることができます。自己粘着層により下地との密着性を確保し、穿孔や騒音を伴わずに改修することが可能です。下地撤去が不要なため、工期短縮・廃材削減・漏水リスク低減・低騒音施工を同時に実現いたします。

\*既存防水が塩ビシートの場合は施工できません。

断熱層を追加する改修・改築の場合でも、既存防水層を撤去せずに SikaRoof® Board Adhesive で断熱材を固定し、その上に Sarnafil® G 410-15 SA Feltback を貼り合わせることで、工期短縮と優れた耐風圧性能を両立いたします。環境負荷の高い下地撤去工程を省略することで、作業騒音・廃棄物・CO2 排出を抑えたサステナブルな改修を実現いたします。



下地	既存防水改修	接着断熱	適応プライマー
コンクリート(押さえコン除く)	○	○	DSプライマー・エコ
金属(折板屋根・瓦棒屋根含む)	○	○	プライマーPW-F、FSエポプライマー
ALCパネル(t100mm以上)	○	○	DSプライマー・エコ(下地調整後)
塩ビシート(接着工法)	×	○	層間プライマー-E
ウレタン塗膜	○	○	層間プライマー-E
加硫ゴムシート(接着工法)	○	○	オープライマー
砂付きアスファルト	○	○	オープライマーバリア
オレフィン系シート	○	×	—

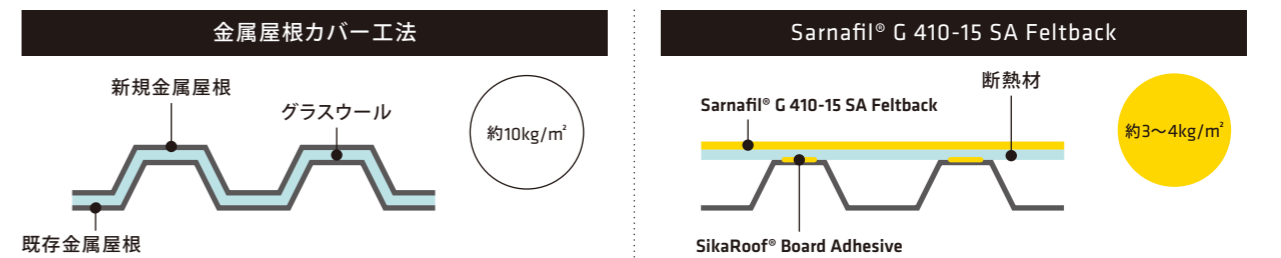
## 9 トータル工期の短縮が可能

従来の機械的固定工法や全面接着工法では、アンカーの穿孔や接着剤の硬化時間など、作業工程や待機時間が多く、工期全体が長期化する傾向があります。Sarnafil® G 410-15 SA Feltbackの接着断熱工法では、自己粘着層と特殊発泡ウレタン樹脂接着剤によって、接着剤の塗布・養生・固定を大幅に短縮することができます。さらに下地撤去が不要なため、準備から仕上げまでを効率的に進めることが可能です。これにより、建物稼働中の改修やタイトな工程スケジュールにも対応でき、安全性・生産性・品質のすべてを高次元で両立いたします。



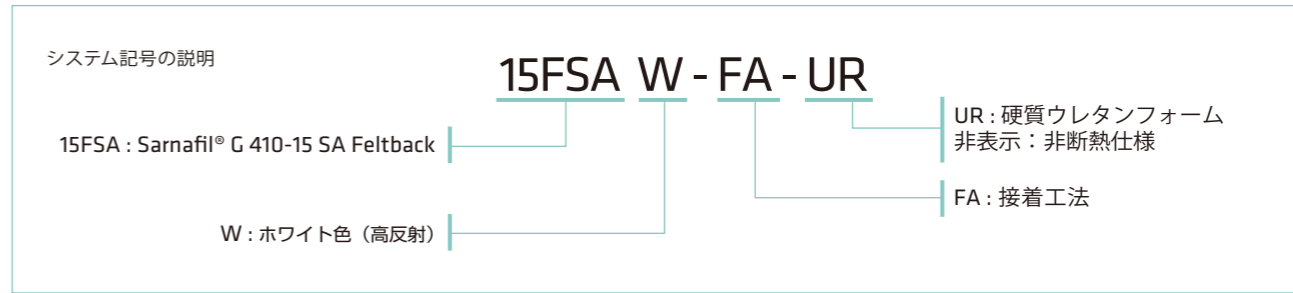
## 10 既存構造への荷重負担を抑制

金属屋根改修においては、金属カバー工法での改修と比較して上載荷重が1/3に低減が可能です。(断熱材は50mm想定)これにより既存構造への荷重負担を抑制し、建物の長寿命化にも貢献します。

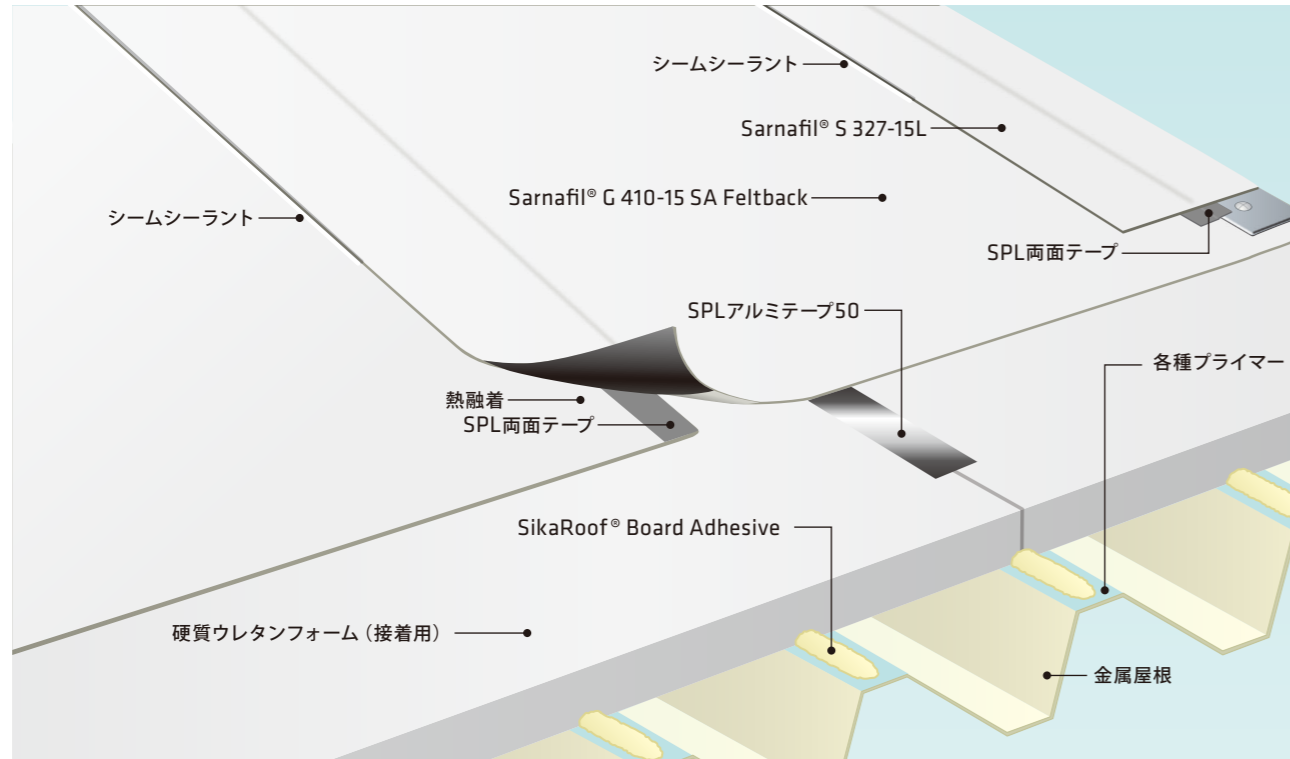


# 工法・製品

Construction Methods  
and Products



# 金属屋根接着断熱工法



システム記号	シート厚み	工法	高反射	用途	工事分野
15FSAW-FA-UR	1.5	接着断熱工法	●	非歩行	新築 / 改修

## 施工手順(断熱工法)

1	プライマー塗布	プライマーPW-F、FSエポプライマー
2	発泡接着剤の吹付塗布	SikaRoof® Board Adhesive
3	断熱材の敷設	硬質ウレタンフォーム(接着用)、SPLアルミテープ
4	Sarnafil® G 410-15 SA Feltback 貼込み	Sarnafil® G 410-15 SA Feltback、SPL両面テープ
5	熱融着接合	自動溶接機、ハンドライスター、シームシーラント
6	端末処理	SPL-K各種、SPL-A各種、アンカー各種、SPL両面テープ

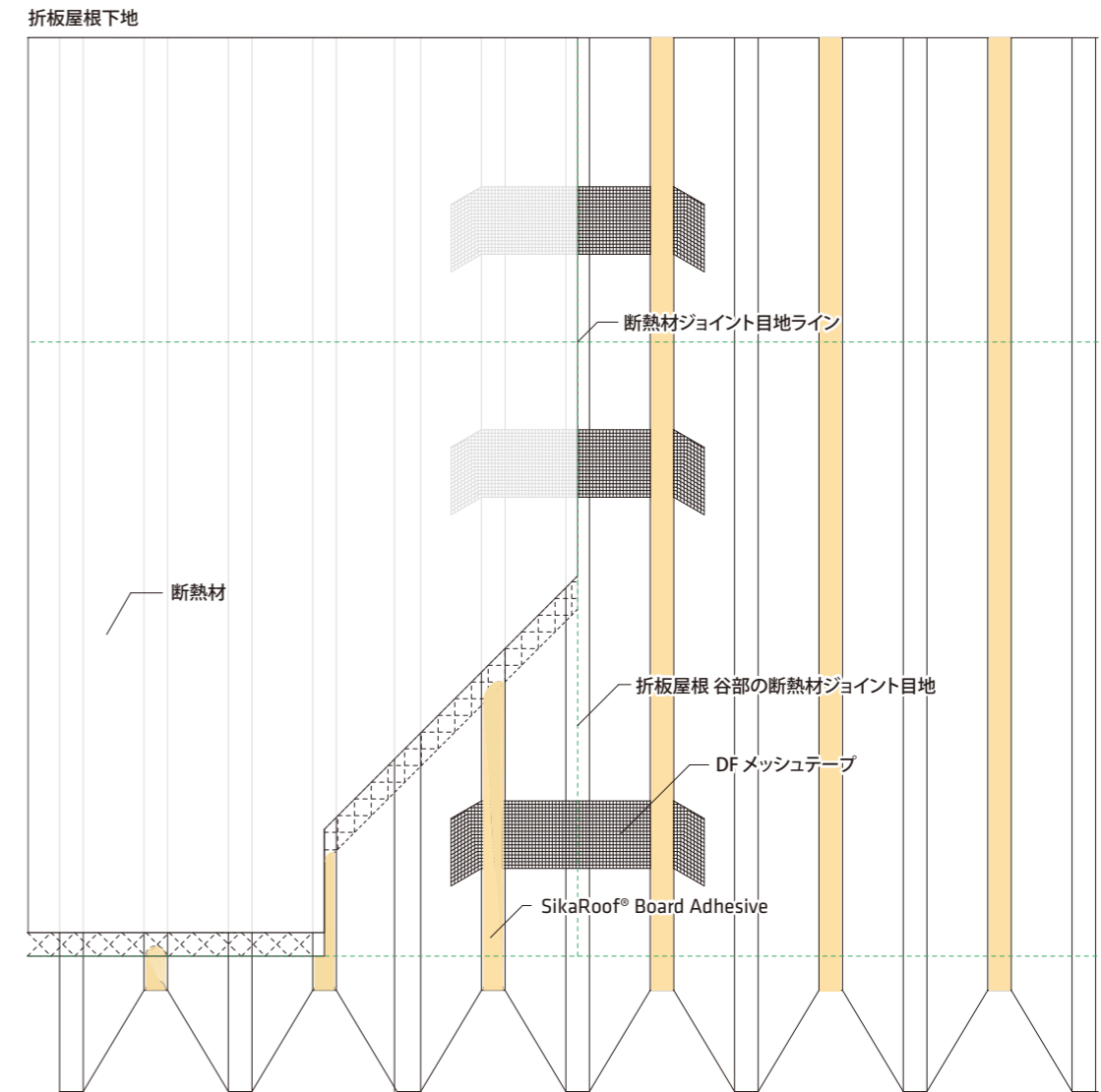
### [注意事項]

- 新築のデッキプレート下地、改修の瓦棒下地にも対応可能です。ハゼ式折板には対応していません。
- 金属下地にプライマー塗布が必要です。
- SikaRoof® Board Adhesive塗布後、硬化するまで断熱材上を歩行しないでください。
- 立上り部はSikaRoof® Adhesive Tape PVC工法・接着工法・機械的固定工法・ハイブリッド工法で施工可能です。
- 下地の状態(浮き・はく離・凹凸)により本工法が適用できない場合があります。
- 断熱材の凹凸を解消するためSPLディスクを併用することも可能です。
- 仕上がり時に断熱材の凹凸が目立つ場合がありますが、防水性能に問題はありません。
- シートジョイントは熱融着のみで施工してください。溶剤溶着には対応していません。

## 下地対応プライマー

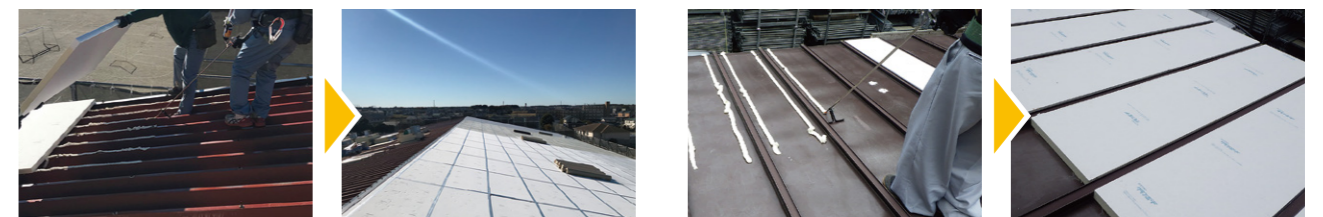
下地	適応プライマー
金属	プライマーPW-F、FSエポプライマー

## 発泡接着剤の吹付塗布イメージ図



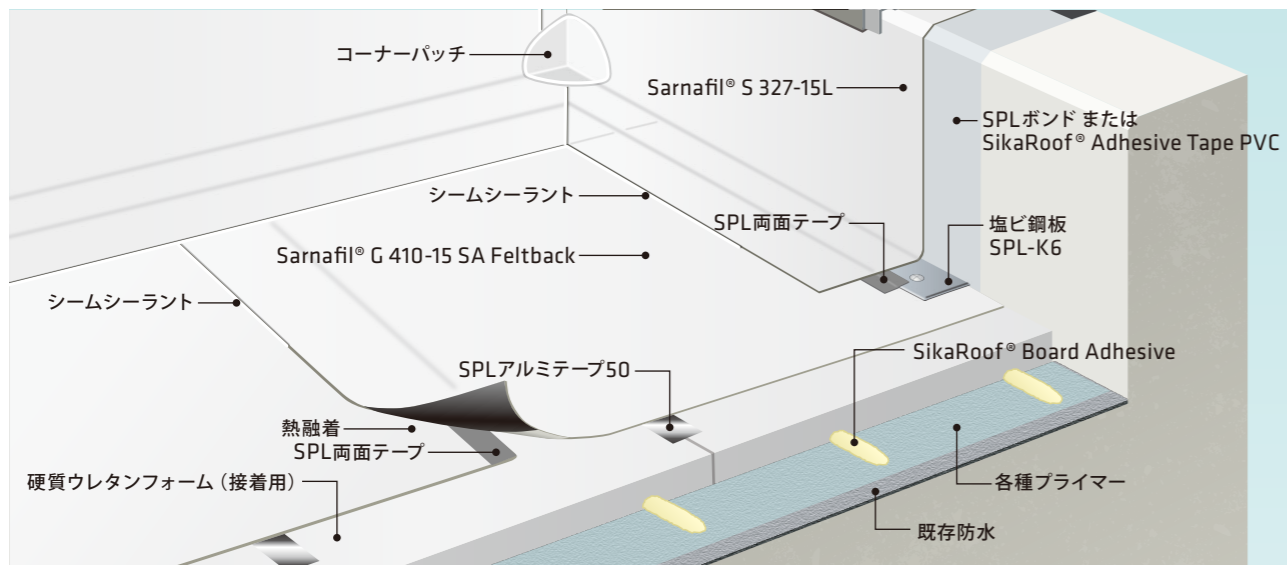
- 折板の山毎に塗布
- 断熱材のジョイントが谷部になる場合は、段差抑制、断熱材の踏み抜き防止補強としてDFメッシュテープの貼付け
- 断熱材のジョイントが山部になる場合はDFメッシュテープの貼付けは不要

## 金属屋根下地の施工例



# 陸屋根既存防水改修工法 - 接着断熱仕様 -

## 基本構成図



システム記号	シート厚み	工法	高反射	用途	工事分野
15FSAW-FA-UR	1.5	接着断熱工法	●	非歩行	新築 / 改修

## 施工手順 (断熱工法)

1	プライマー塗布	各種プライマー
2	発泡接着剤の吹付塗布	SikaRoof® Board Adhesive
3	断熱材の敷設	硬質ウレタンフォーム(接着用)、SPLアルミテープ
4	Sarnafil® G 410-15 SA Feltback 貼込み	Sarnafil® G 410-15 SA Feltback、SPL両面テープ
5	熱融着接合	自動溶接機、ハンドライスター、シームシーラント
6	端末処理	SPL-K各種、SPL-A各種、アンカー各種、SPL両面テープ

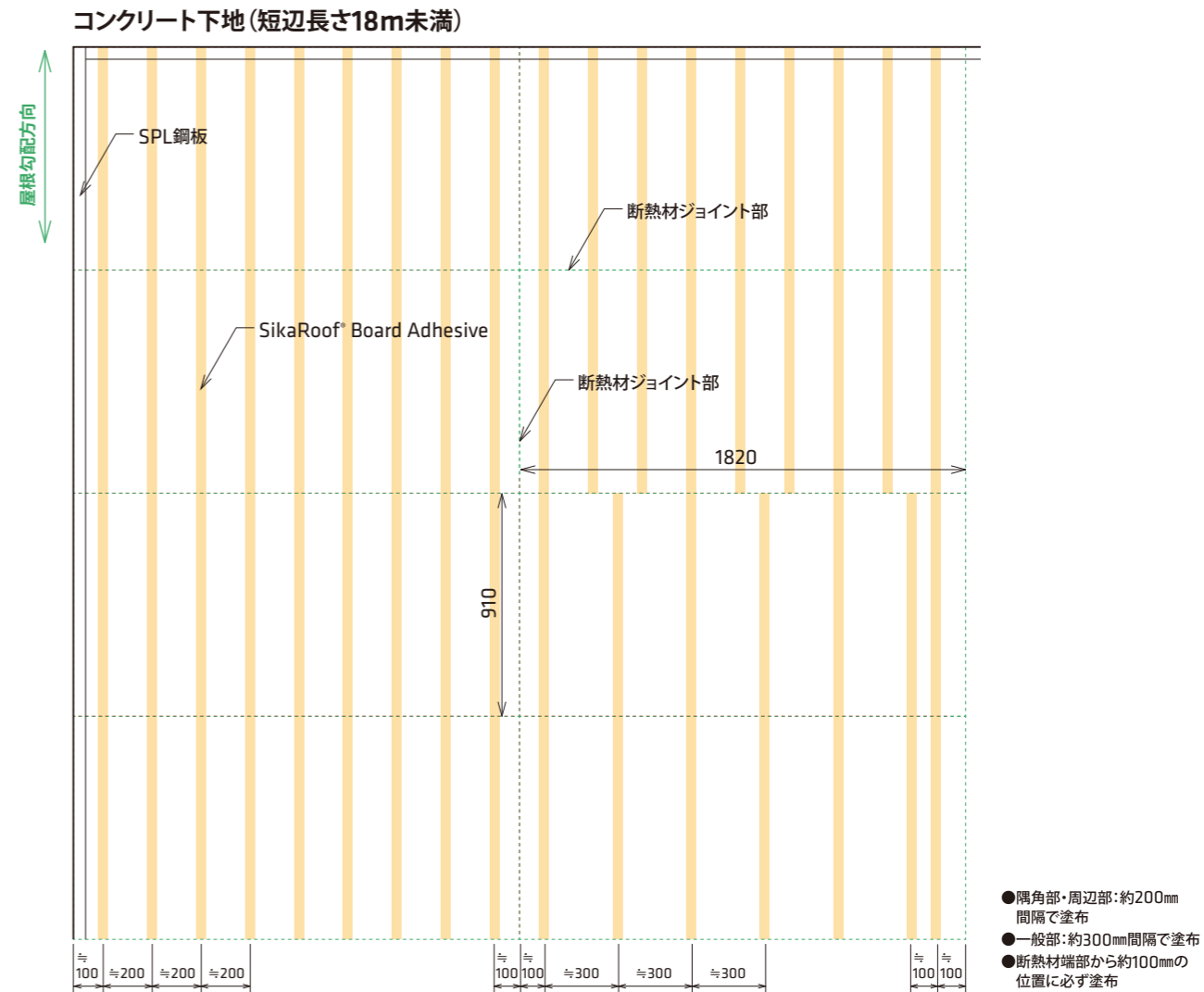
### [注意事項]

- 下地別に各種プライマー塗布が必要です。
- SikaRoof® Board Adhesive塗布後、硬化するまで断熱材上を歩行しないでください。
- 立上り部はSikaRoof® Adhesive Tape PVC工法・接着工法・機械的固定工法・ハイブリッド工法で施工可能です。
- 下地の状態(浮き・はく離・凹凸)により本工法が適用できない場合があります。
- 仕上がりに断熱材の凹凸が目立つ場合がありますが、防水性能に問題はありません。
- 断熱材の凹凸を解消するためSPLディスクを併用することも可能です。
- シートジョイントは熱融着のみで施工してください。溶剤溶着には対応していません。

## 下地対応プライマー

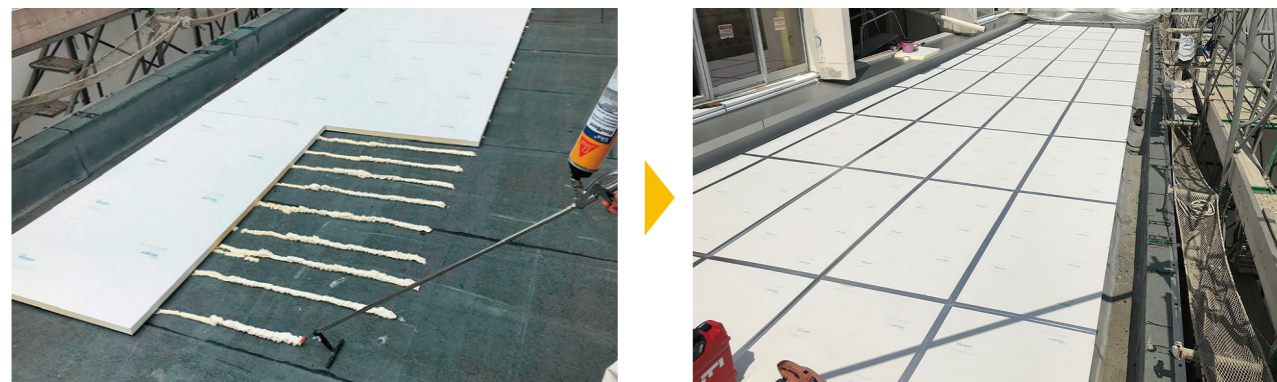
下地	適応プライマー
コンクリート(押さえコン除く)	DSプライマー・エコ
塩ビシート(接着工法)	層間プライマーE
ウレタン塗膜	層間プライマーE
加硫ゴムシート(接着工法)	オープライマー
砂付きアスファルト	オープライマーバリア

## 発泡接着剤「SikaRoof® Board Adhesive」吹付塗布イメージ図



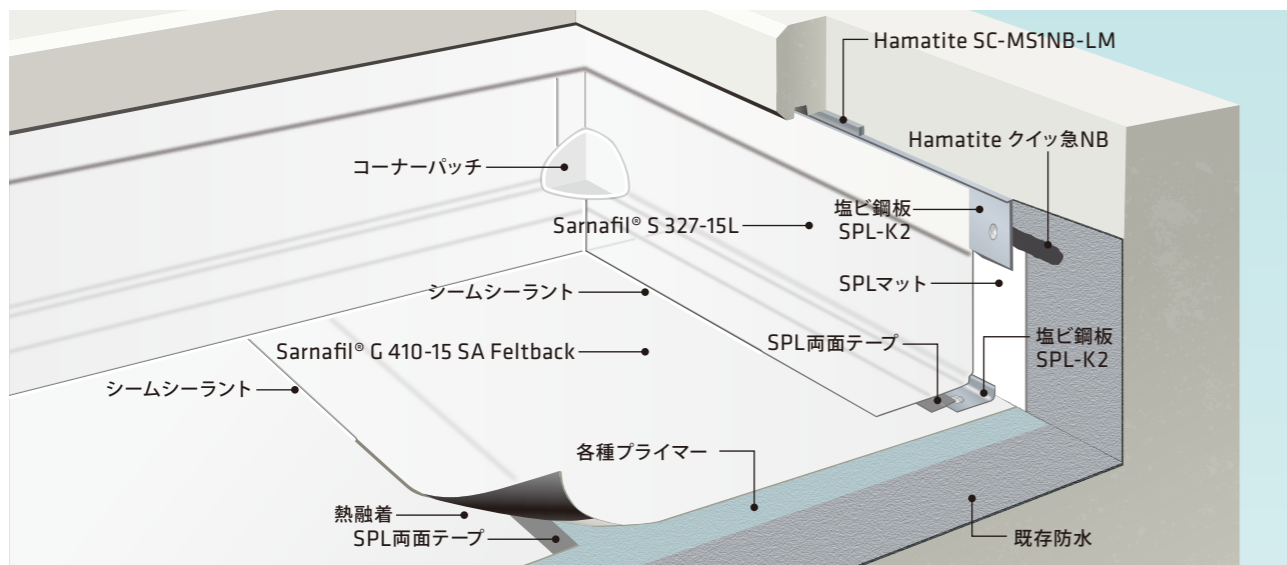
- 隅角部・周辺部: 約200mm 間隔で塗布
- 一般部: 約300mm間隔で塗布
- 断熱材端部から約100mmの位置に必ず塗布

## 露出アスファルト防水下地の施工例



# 陸屋根既存防水改修工法 - 非断熱仕様 -

## 基本構成図



システム記号	シート厚み	工法	高反射	用途	工事分野
15FSAW-FA	1.5	接着工法	●	非歩行	新築 / 改修

## 施工手順(断熱工法)

1	プライマー塗布	各種プライマー
2	Sarnafil® G 410-15 SA Feltback 貼込み	Sarnafil® G 410-15 SA Feltback、SPL両面テープ
3	熱融着接合	自動溶接機、ハンドライスター、シームシーラント
4	端末処理	SPL-K各種、SPL-A各種、アンカー各種、SPL両面テープ

### [注意事項]

- 下地別に各種プライマー塗布が必要です。
- 立上り部はSikaRoof® Adhesive Tape PVC工法、接着工法・機械的固定工法・ハイブリッド工法で施工可能です。
- 下地の状態(浮き・はく離・凹凸)により本工法が適用できない場合があります。
- 仕上がりに下地の凹凸が目立つ場合があります。
- シートジョイントは熱融着のみで施工してください。溶剤溶着には対応していません。
- 新築で下地がRC、立上りが接着工法、SikaRoof® Adhesive Tape PVC工法、ハイブリッド工法の場合は入隅にSPL鋼板は不要です。

## 下地対応プライマー

下地	適応プライマー
コンクリート(押さえコン除く)	DSプライマー・エコ
ウレタン塗膜	層間プライマー-E
加硫ゴムシート(接着工法)	オープライマー
砂付きアスファルト	オープライマーバリア
オレフィン系シート	-

### [注意事項]

- 下既存防水が塩ビシートの場合は施工できません。

## 施工フロー

### Sarnafil® G 410-15 SA Feltback

- 1 下地清掃
- 2 プライマー塗布
- 3 墨出し・仮敷き
- 4 シート敷設(離形フィルム除去)
- 5 転圧(圧着)
- 6 シート相互熱融着
- 7 帯シート熱融着
- 8 SPL鋼板固定
- 9 立上り部施工
- 10 施工完了



# 製品一覧

## Sarnafil® G 410-15 SA Feltback



### 規格

項目	内容
長さ	15m
幅	2m*
重量	約76kg
カラー	ホワイト
表面	ラッカーコーティング仕上
補強材	ガラス繊維不織布
裏面	ポリプロピレンフェルト + 自己粘着層 + 離型フィルム
適用下地	コンクリート・金属・木材・硬質ウレタン断熱材(接着用)・アスファルト・ウレタン・ゴムシート・オレフィンシート(塩ビシートは適用不可)

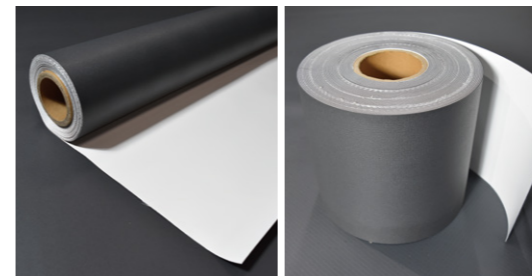
\*幅2mのうち長手方向の片側側部に約90mm熱融着しろを設けています。

### 基本物性

試験項目		物性値		JIS規格 JIS A6008 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系	
		長手方向	横方向		
引張性能	引張強さ (N/cm)	194	173	100以上	
	伸び率 (%)	240	158	150以上	
引裂性能	引裂強さ (N)	230	201	50以上	
温度依存性	試験温度 60℃ 引張強さ (N/cm)	118	100	40以上	
	試験温度 -20℃ 伸び率 (%)	31	37	10以上	
加熱伸縮性状	伸縮量 (mm)	縮み 0.1	縮み 0.1	伸び 2以下 / 縮み 4以下	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	93	92	80以上
		促進暴露処理	99	102	80以上
		アルカリ処理	98	99	80以上
	伸び率比 (%)	加熱処理	88	109	70以上
		促進暴露処理	96	108	80以上
		アルカリ処理	100	119	80以上
伸び時の劣化性状	加熱処理	合格		いずれの試験片にも、ひび割れがあつてはならない	
	促進暴露処理	合格		いずれの試験片にも、ひび割れがあつてはならない	
	オゾン処理	合格		いずれの試験片にも、ひび割れがあつてはならない	
接合性状	無処理	合格		基準線からのずれ及びはく離の長さが5mm以下でかつ有害な膨れなど異常箇所がないこと	
	加熱処理	合格		基準線からのずれ及びはく離の長さが5mm以下でかつ有害な膨れなど異常箇所がないこと	
	アルカリ処理	合格		基準線からのずれ及びはく離の長さが5mm以下でかつ有害な膨れなど異常箇所がないこと	

※上記物性値は測定データの代表値であり、保証値ではありません。

## Sarnafil® S 327-15L



立上り用シート

帯シート

### 規格

項目	立上り用シート	帯シート
寸法	2m×10m / 1m×20m	0.2m×20m
重量	約40kg	約8kg
カラー	ホワイト	
表面	ラッカーコーティング仕上	
補強材	ポリエステルクロス	

## SikaRoof® Adhesive Tape PVC – 両面自己接着テープ



### 規格

項目	内容
組成	両面アクリル系自己接着テープ (PP離型フィルム)
寸法	33cm×50m / 100cm×50m
重量	33cm : 約7.5kg, 100cm : 約23kg
施工時温度範囲	0℃以上

### SikaRoof® Adhesive Tape PVC の特徴

- 両面自己接着型アクリルテープで、塩ビシートを各種下地に対し強力に固定します。
- 接着剤不要：下地と防水シートの間にはテープを貼り付けるだけで施工可能です。
- 施工時間を大幅短縮：簡単・迅速な施工を実現します。
- 環境に配慮：溶剤不使用・臭気なしでクリーンな施工を実現します。
- 安定した品質：工場製造による均一な接着層を有します。
- 低温対応：塗布型接着剤と異なり、屋外温度0℃まで施工可能です。
- 幅広い用途：改修現場や寒冷地など、さまざまな条件下で確実な接着性を発揮します。
- 雨天時も安心：離型フィルムが接着層を保護し、雨水を弾き、下地への浸入を防止します。

### 主な適用

下地	備考
コンクリート	清掃・乾燥後に直接施工可能
合板・OSBボード	木質系下地に対応
金属	油分・錆除去後に施工可能
PIR/PUR断熱材	断熱材下地に対応
Sikaplan/Sarnafil PVC	床面・立上り施工時に使用可能



立上り施工の新スタンダード  
貼るだけ  
無溶剤・短工期で  
様々な下地に確実施工

## ディスク

### ▶ SPL ディスク



断熱材固定用ディスク  
外径φ100mm ビス穴φ7.5mm  
50枚/袋

### ▶ SPL ストレーナ (縦型)



縦型用  
アルミダイキャスト製  
ドレンストレーナー  
2個/箱

## ドレン

### ▶ 塩ビパイプ用ボンド



SPLドレンと  
ダイダクトホース接合用接着剤  
0.1kg/缶

### ▶ SPL ドレン大 本体



外径φ250mm  
既存ドレンφ100mm用  
1個/箱

### ▶ SPL ドレン小 本体



外径φ250mm  
既存ドレンφ75mm用  
1個/箱

### ▶ SPL ストレーナ (横型)



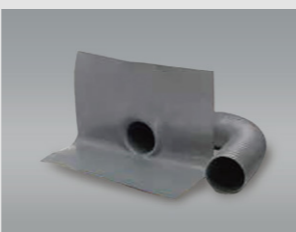
横型用  
アルミダイキャスト製  
ドレンストレーナー  
2個/箱

### ▶ タイダクトホース GL-2



縦横ドレン用フレキシブルホース  
長さ5m 1本/箱  
(現場で任意の長さに切断し使用)  
φ86mm: 既存ドレンφ100mm用  
φ65mm: 既存ドレンφ75mm用

### ▶ 楽ドレン



板 400mm×400mm  
ホース長さ 700mm  
既存ドレンφ30/40/50/60/70/80/  
90/100/110/120/130/140/150mm用  
1個/箱

## アンカー (RC系下地用)

### ▶ SPL アンカー



ビス+プラグ/セット  
50mmセット ビス φ5.8×50mm  
65mmセット ビス φ5.8×65mm  
フィッシャー-SX φ8×40mm  
貫入長 45mm以上  
下穴径 8.5mm  
100本/箱  
※スクエアビット:1本付き

### ▶ SPL スクリュー



断熱工法用・立上り部用アンカー  
φ7.0×50mm 非断熱工法平場用、立上り用  
φ7.0×70mm 露出アスファルト改修用、断熱工法用  
φ7.0×80mm、95mm、120mm 断熱工法用  
貫入長 40mm以上 下穴径 6mm  
\*コンプレッサーを使用し、キリ粉除去のこと。  
ノズル径 5mm  
推奨機械 タンク容量4L 100本/箱  
※スクエアビット:1本付き

## コーナーパッチ

### ▶ SPL コーナーパッチ A



出隅部増し張り用塩ビ成形役物  
色:ホワイト 10個/袋

### ▶ SPL コーナーパッチ B



入隅部増し張り用塩ビ成形役物  
色:ホワイト 10個/袋

## アンカー (金属系下地用)

### ▶ Samafast SBF



金属用アンカー  
φ6.0×60mm 500本/箱  
φ6.0×80mm 250本/箱  
φ6.0×100mm 250本/箱  
SPL鋼板固定用アンカー  
鉄板板厚:0.8~1.2mm

### ▶ MB シートテクス



補強鋼板取付用アンカー  
φ4.5×13mm 1000本/箱  
φ4.5×16mm 1000本/箱  
φ4.5×19mm 500本/箱  
鉄板板厚:0.8~1.2mm

### ▶ MB テクスシンワッシャー



軽量鉄骨 (C型鋼など) 用アンカー  
φ5.0×25mm、35mm 500本/箱  
φ5.0×50mm、60mm 300本/箱  
φ5.0×70mm、80mm 200本/箱  
φ5.0×100mm 100本/箱  
鉄板板厚:2.3~3.2mm

## 接着剤/溶着剤/接着断熱用工具

### ▶ SPL ボンド



ニトリルゴム系接着剤  
15kg/缶  
施工費目安:30~37.5㎡/缶

### ▶ シームシーラント



接合部用不定形シール材  
1L/缶 (ホワイト)  
施工費目安:60~70㎡/缶

### ▶ SikaRoof® Board Adhesive



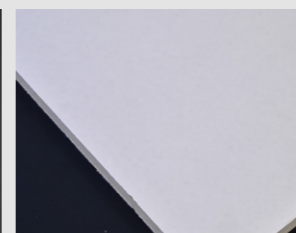
1成分発泡ウレタン接着剤 断熱材固定用接着剤  
入目:12本/箱 容量:750ml/本  
施工費目安:7~10㎡ (下地種別による)

### ▶ アプリケーションガン



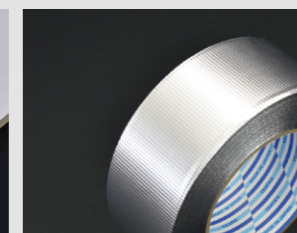
SikaRoof® Board Adhesive専用スプレーガン  
1本/箱 (スタンド:1個、フラットノズル:10個入り)  
※市販のアプリケーションガンも使用可能です。

### ▶ 硬質ウレタンフォーム (接着用)



A種硬質ウレタンフォーム2種2号  
910mm×1820mm  
t=25mm、30mm、35mm、40mm、50mm

### ▶ SPL アルミテープ



断熱材ジョイント処理用アルミテープ  
・SPLアルミテープ50:W50mm×50m巻  
・SPLアルミテープ75:W75mm×50m巻

### ▶ Sika ブームクリーナー



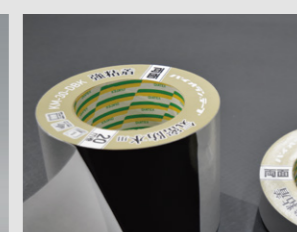
アプリケーションガン用洗浄剤  
入目:12本/箱 容量:500ml/本

### ▶ DF メッシュテープ



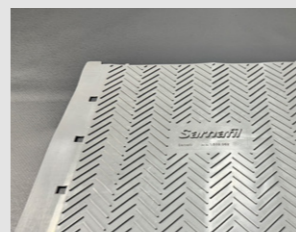
端末補強用ガラステープ  
巾100mm×50m  
※折板屋根下地で断熱材の継目が谷部になる場合に  
使用します。

### ▶ SPL 両面テープ



シートジョイント、SPL鋼板用両面テープ  
・SPL両面テープ W30:W30mm×20m巻  
・SPL両面テープ W100:W100mm×20m巻

### ▶ PVC Walkway Pad



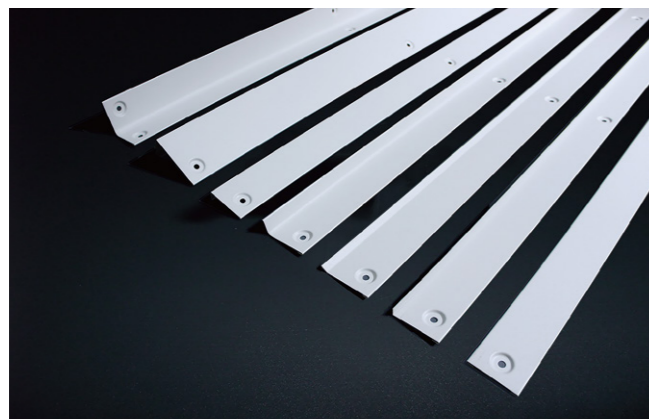
屋根のメンテナンス通路用パッド (PVC製、滑り止め加工あり)  
・600mm×600mm  
20枚/箱

その他の製品については  
シーカプランカタログも参照ください。




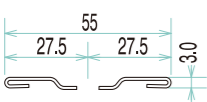

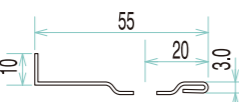

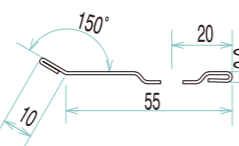

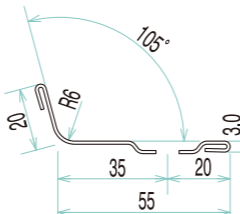

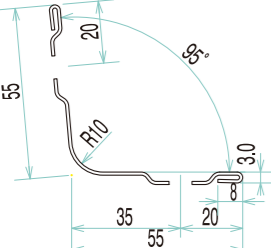

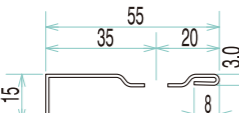

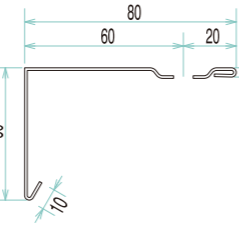
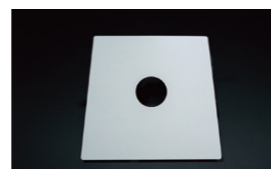
# 製品一覧

## 塩ビ鋼板



受注生産

※金属下地の場合は、鋼板のビス穴形状が変わりますので特注品となります。  
※その他の形状の加工も可能です。

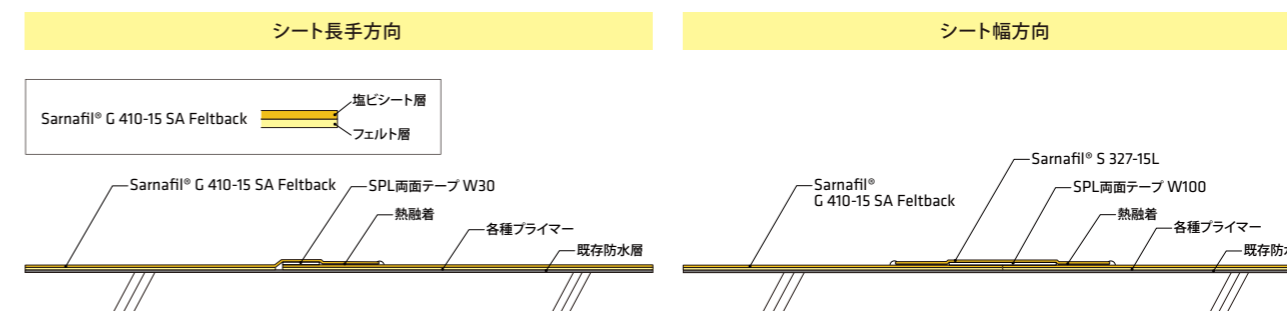
SPL-K1	SPL-K2	SPL-K3	SPL-K4
<p>[使用箇所・用途]フラットバー</p>   <p>W = 55mm L = 2000mm 5穴/本 10本/箱</p>	<p>[使用箇所・用途]立上りアゴ下部・入隅部</p>   <p>55mm×10mm L = 2000mm 5穴/本 10本/箱</p>	<p>[使用箇所・用途]側溝部・入隅部</p>   <p>55mm×10mm L = 2000mm 150° 5穴/本 10本/箱</p>	<p>[使用箇所・用途]入隅部(順張り)</p>   <p>55mm×20mm L = 2000mm 105°R6 5穴/本 10本/箱</p>
SPL-K5	SPL-K6	SPL-K7	SPLドレン鋼板
<p>[使用箇所・用途]入隅部(逆張り)</p>   <p>55mm×15mm L = 2000mm 95°R10 10穴/本 10本/箱</p>	<p>[使用箇所・用途]断熱工法 入隅部・出隅部</p>   <p>55mm×15mm L = 2000mm 5穴/本 10本/箱</p>	<p>[使用箇所・用途]立上り天端部・軒先部</p>   <p>80×50×10mm L = 2000mm 5穴/本 10本/箱</p>	<p>[使用箇所・用途]縦・横型ドレン部</p>  <p>455mm×455mm φ110mm 角R10 5枚/箱</p>

# 納まり例

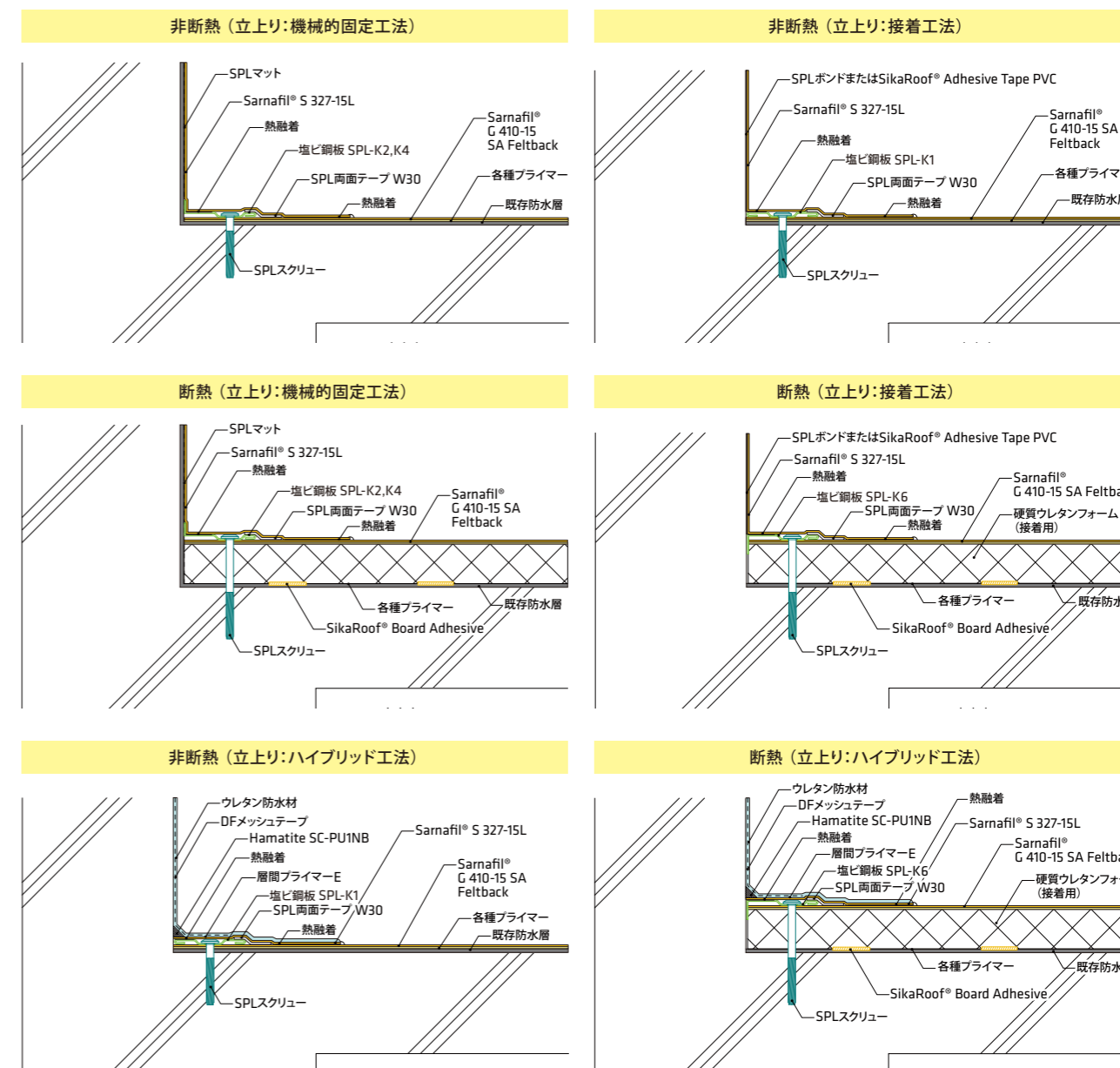
ここに掲載する納まりは一般的な代表例です。  
現場の諸条件や下地の状況に応じた納まりの検討やその他納まりのご相談につきましては、お問合せください。



## コンクリート系下地 平場接合部

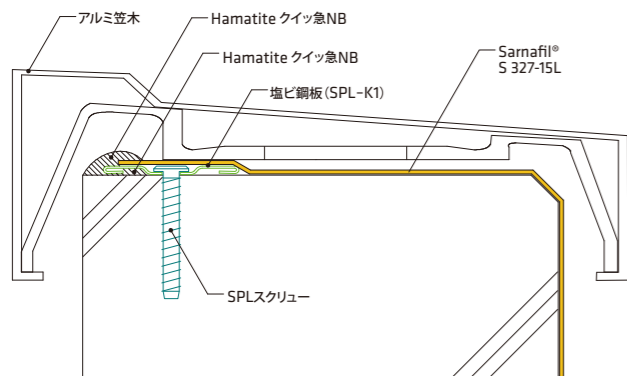


## コンクリート系下地 入隅部

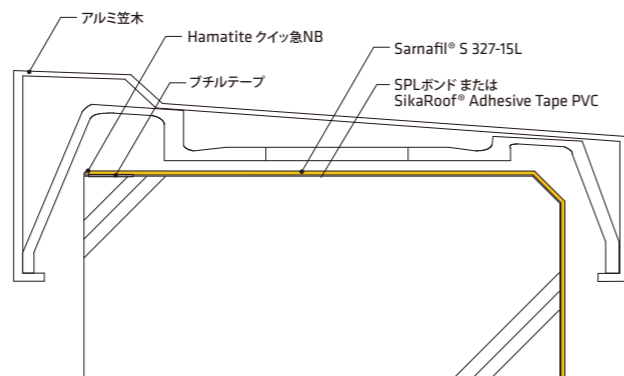


## コンクリート系下地 パラペット部

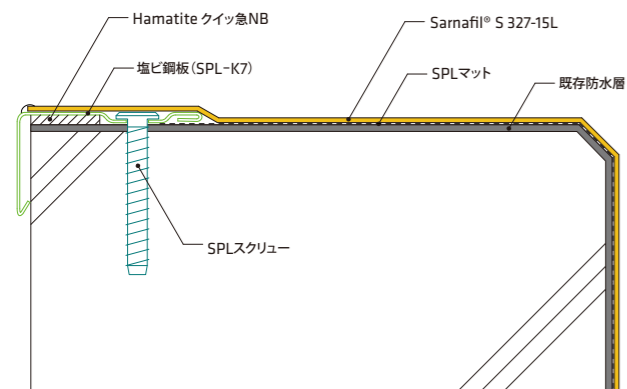
金属笠木(立上り:機械的固定工法)



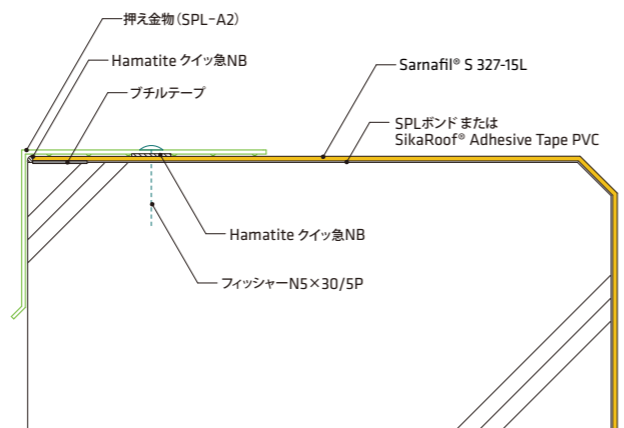
金属笠木(立上り:接着工法)



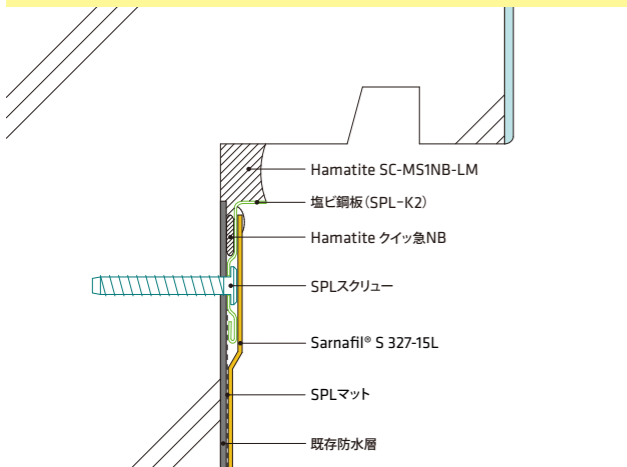
金物押え(立上り:機械的固定工法)



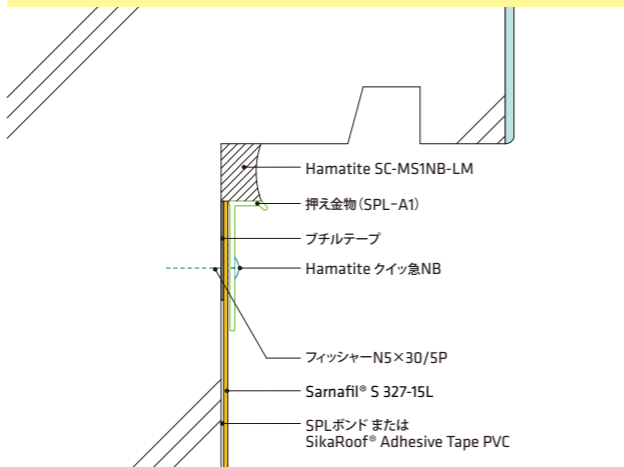
金物押え(立上り:接着工法)



あご下(立上り:機械的固定工法)

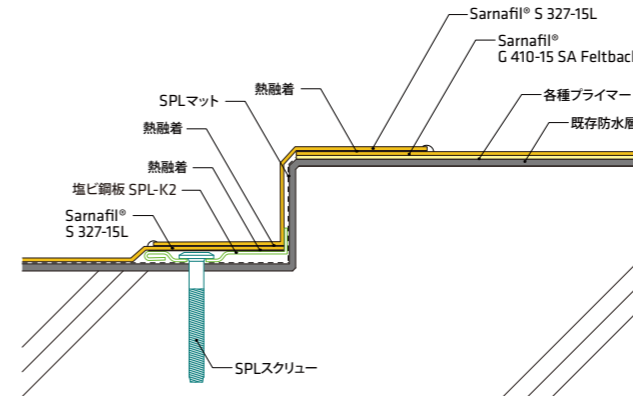


あご下(立上り:接着工法)

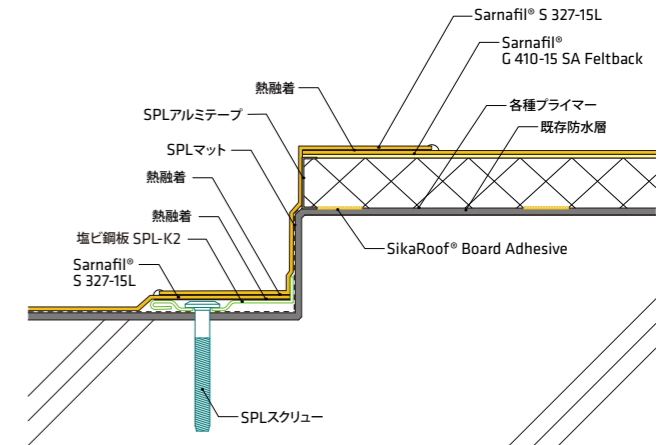


## コンクリート系下地 側溝部

非断熱

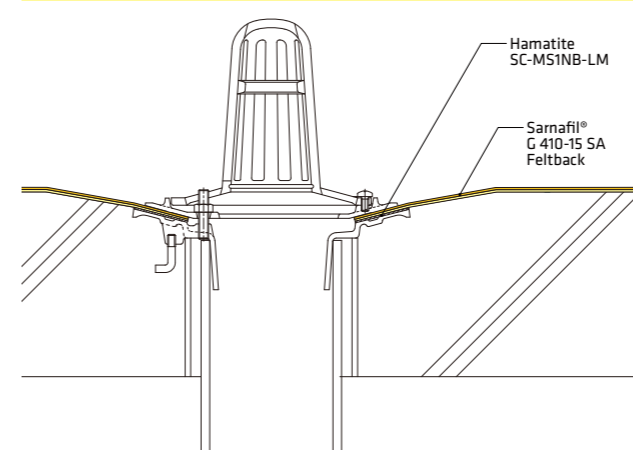


断熱

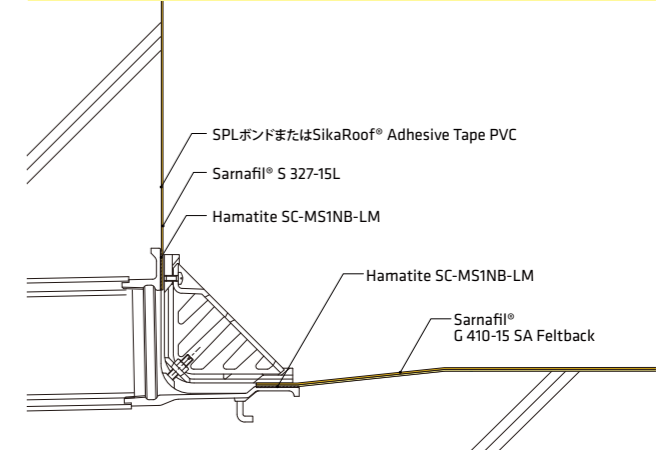


## コンクリート系下地 ドレン部

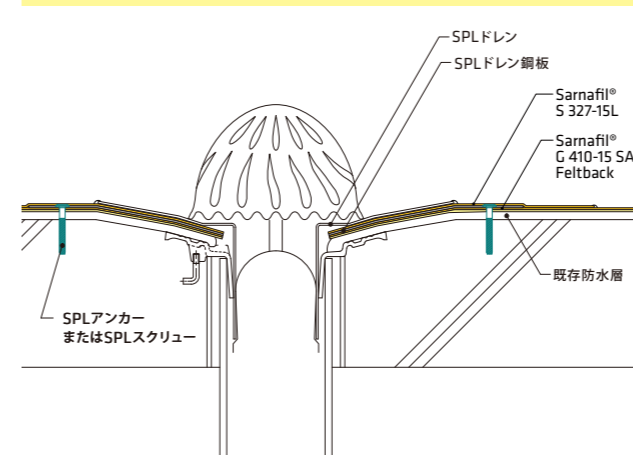
新築:縦ドレン



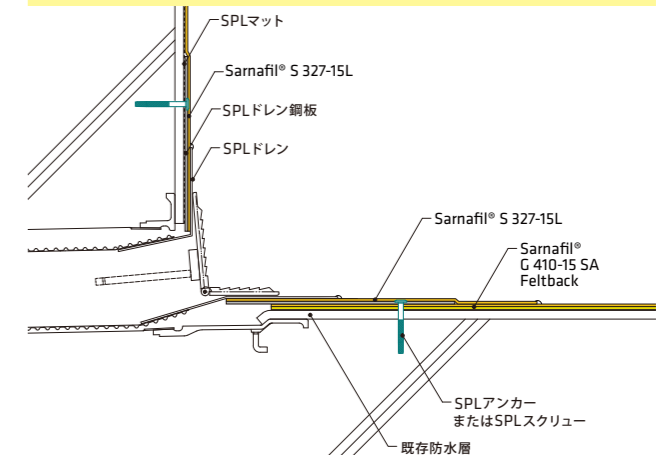
新築:横ドレン



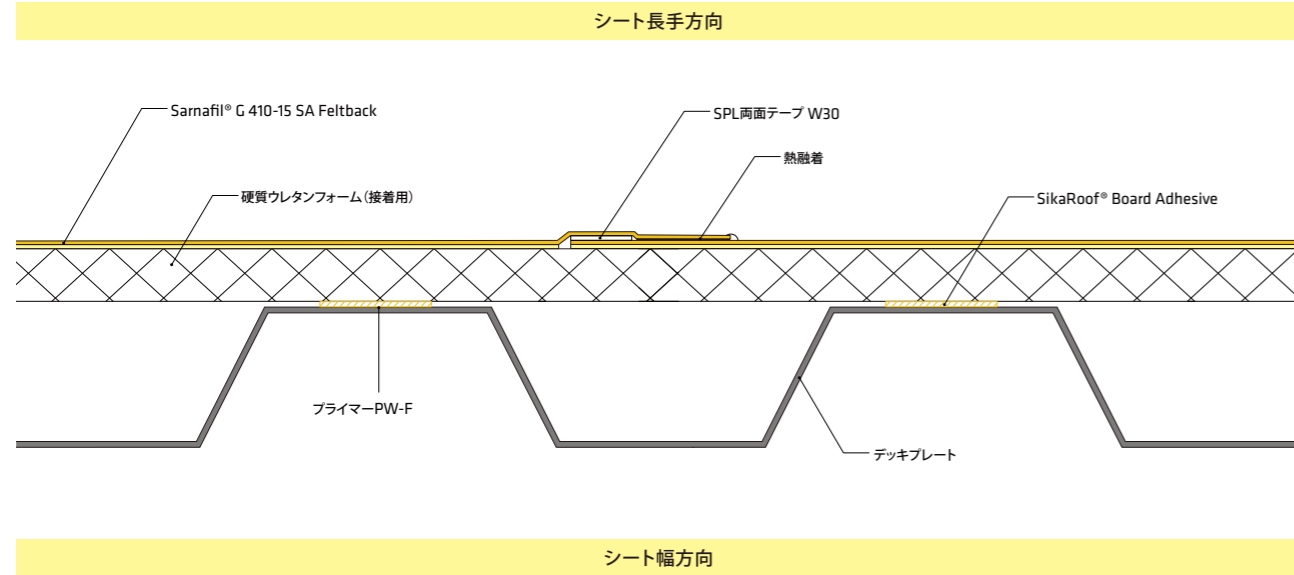
改修:縦ドレン



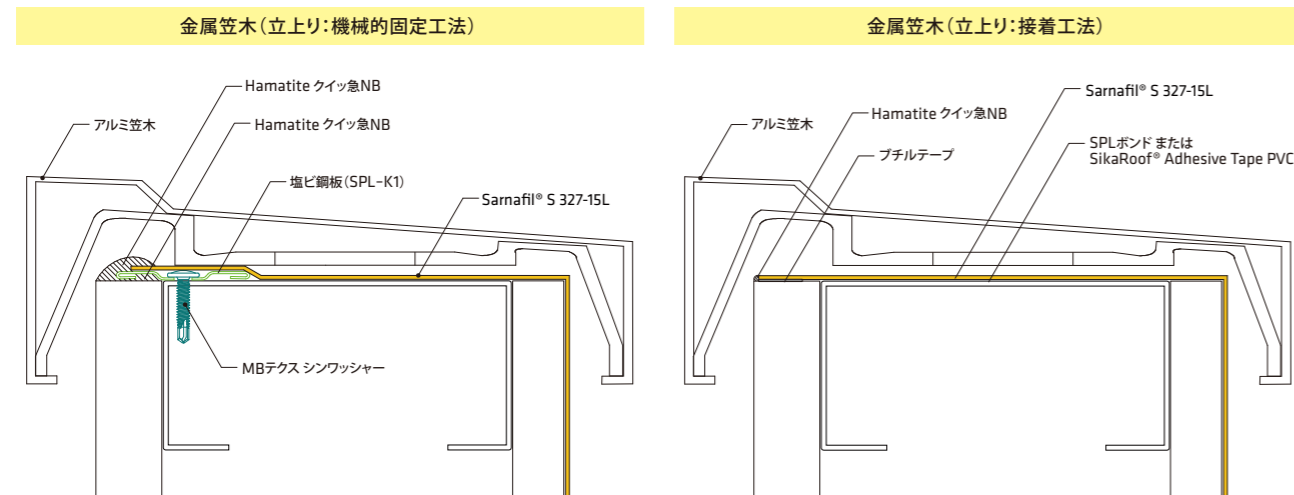
改修:横ドレン



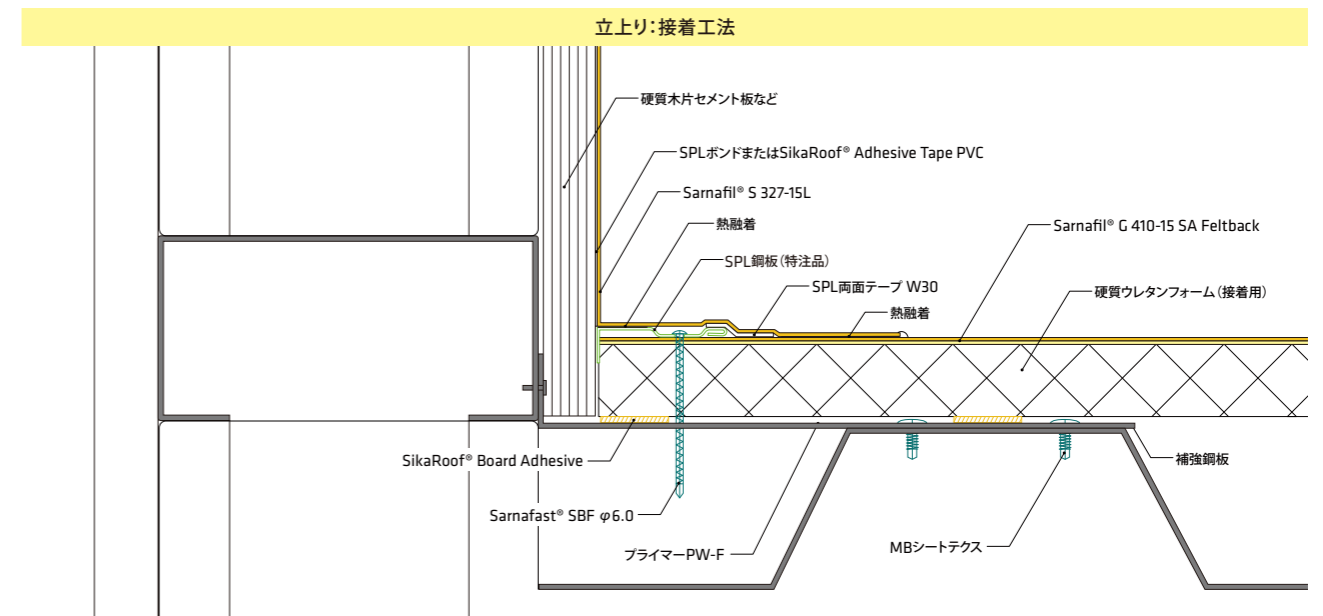
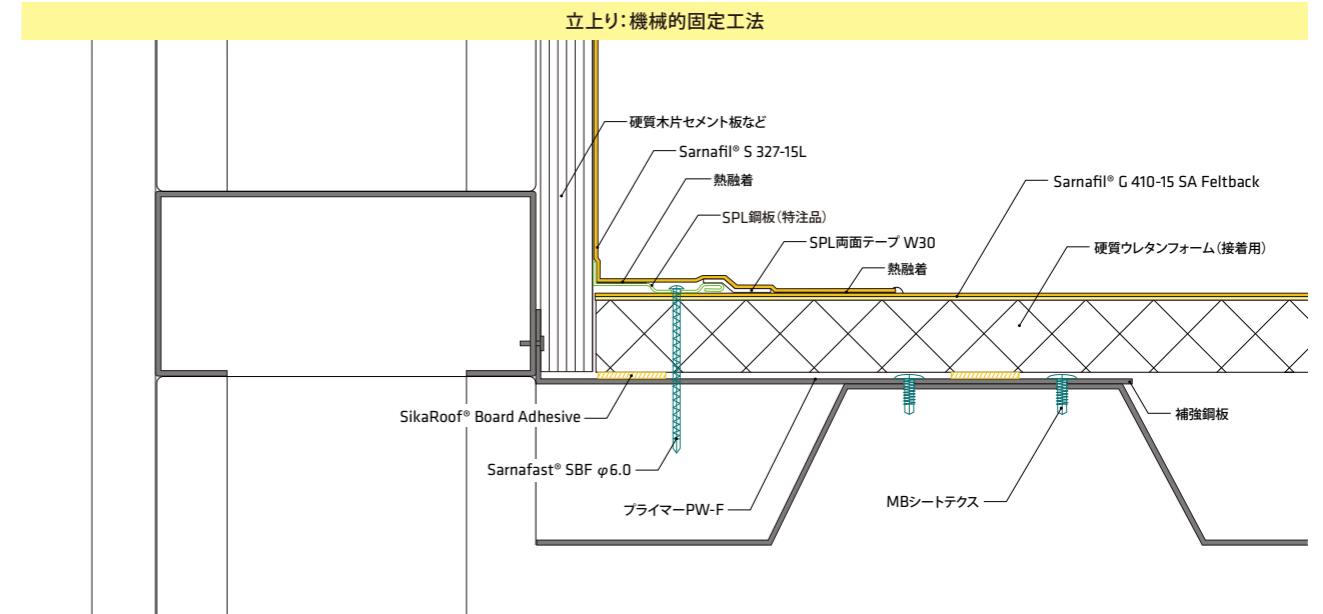
## 金属系下地(デッキプレート) 平場接合部



## 金属系下地(デッキプレート) パラペット部

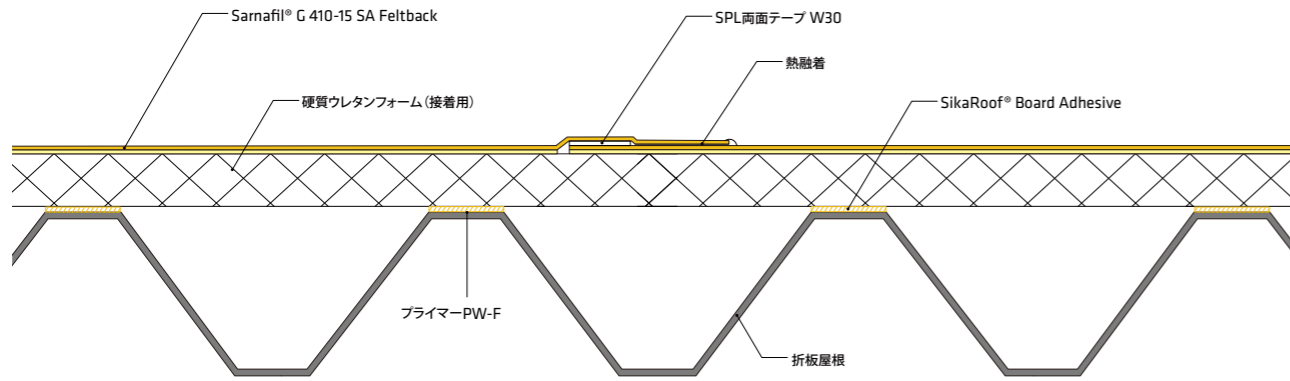


## 金属系下地(デッキプレート) 入隅部

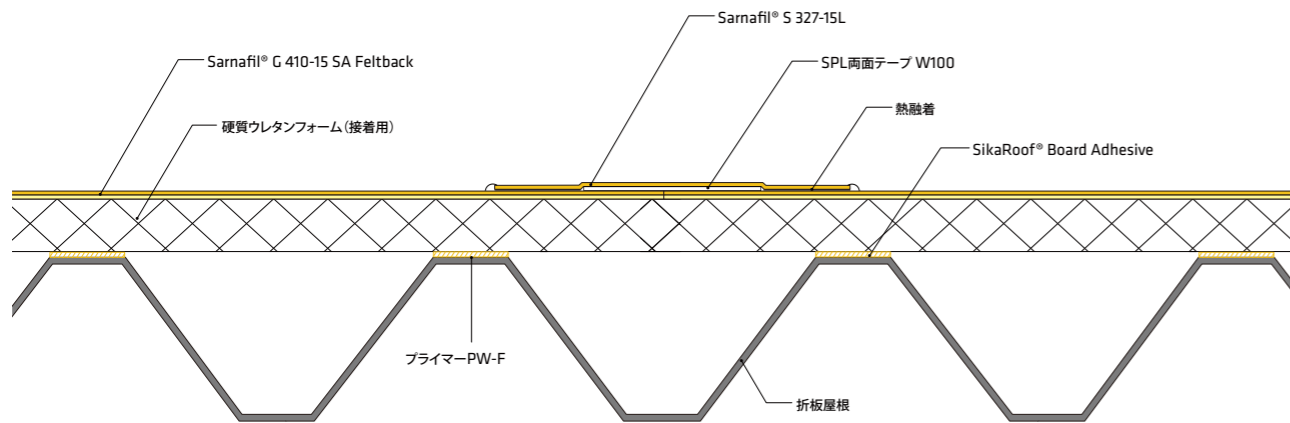


## 金属系下地(折板) 平場接合部

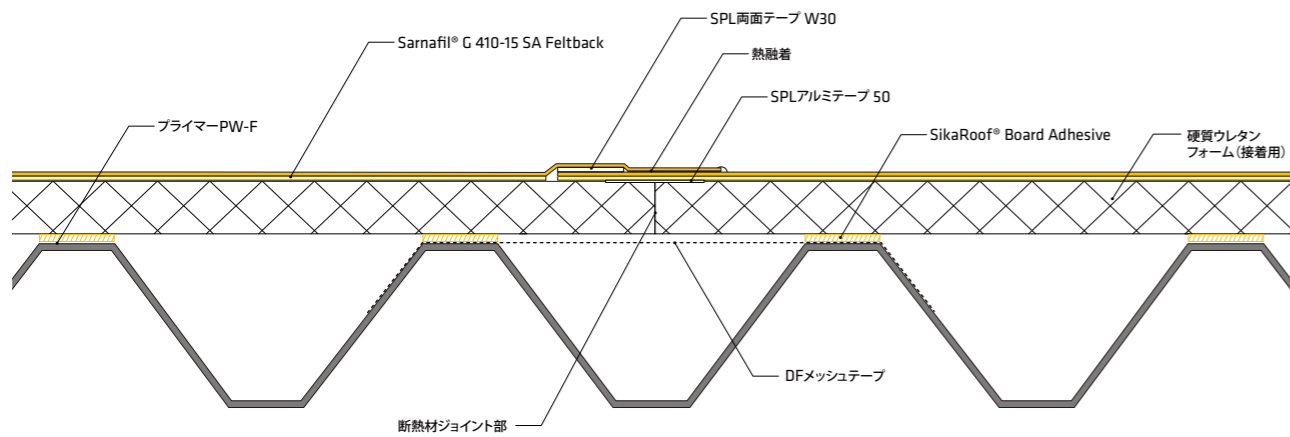
シート長手方向



シート幅方向

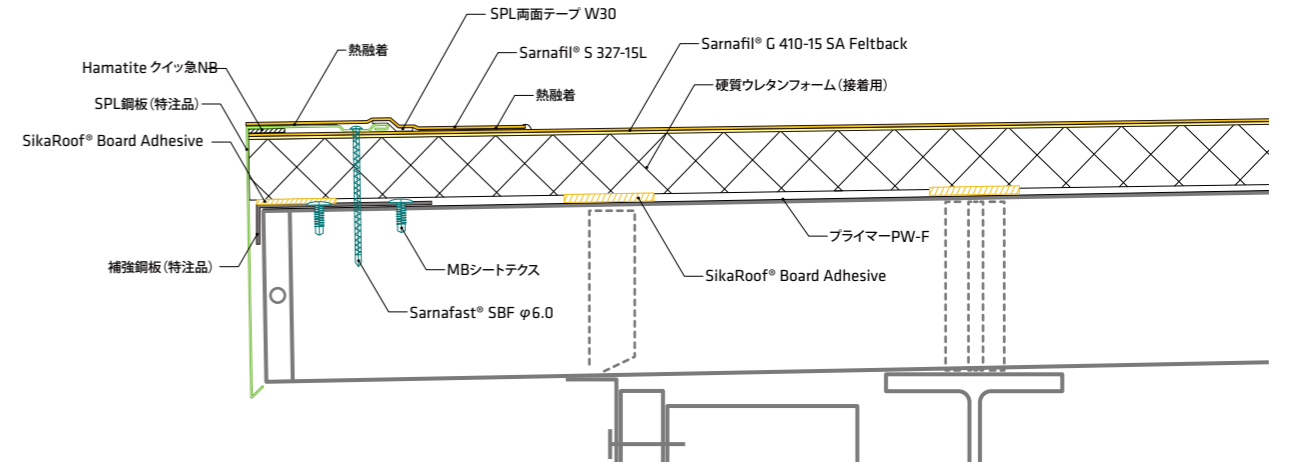


断熱材 谷部ジョイント



## 金属系下地(折板) その他

軒先部



ケラバ部

